

2015年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険 I 型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する変額個人年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ご契約に関する
ご照会は
コールセンター
まで

コールセンター フリーダイヤル  **0120-59-2269**
受付時間 平日8:30~20:00/土曜9:00~17:00(日・祝・12/31~1/3を除く)

ジブロック

2016年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2015年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向 (2015年4月1日～2016年3月31日)

【市場動向】

2015年度の国内債券市場（新発10年国債利回り）は、期初に金利上昇する場面があったものの、ギリシャ情勢の不透明感や中国株下落を背景に金利低下に転じ、年明けの日銀によるマイナス金利政策導入でゼロ%を下回る水準へ低下しました。景気下振れ懸念が強まる中、日銀による大規模国債買い入れが需給を下支えする構造の下、期末では-0.05%で取引を終えました。

外国債券市場は、米10年物国債利回りが欧州債利回りの急上昇に連れて上昇する局面があったものの、ギリシャ情勢の不透明感や中国株下落により金利低下バイアスが加わりました。年末にかけ米国利上げを織り込み上昇する展開もありましたが、期末にかけて追加利上げ観測後退で1.7%台まで低下して取引を終えました。

国内株式市場は、期初はコーポレートガバナンスや企業業績の改善への期待感や株主還元強化、円安基調を受けて上値を試す展開となりました。その後は世界金融情勢の悪化や国内の景気減速懸念、円高進行を背景に上昇基調は続かず、リスクオフの展開となり、年度末の日経平均株価は16,758.67円で取引を終えました。

外国株式市場は、ギリシャ情勢の不透明感や中国株下落の影響を受け、上値の重い展開が続きました。ユーロ圏の追加緩和期待で下期に上昇する場面もありましたが、年明け後は人民元安、中国株下落、原油価格下落の悪材料で急落し、2月に原油価格が上昇に転じた後は、期末にかけて株価が反転する展開となりました。

為替市場については、ドル円相場は米連邦公開市場委員会による年内利上げ観測の高まりで上昇したものの、人民元急落や世界経済の減速懸念によりリスクオフの流れでドル安が進行し、年度末のドル円相場は1ドル112円台となりました。一方、ユーロ円相場は、独長期金利の上昇で一時強含む場面があったものの、欧州中央銀行による追加緩和観測や世界経済の景気減速懸念でリスクオフの動きが強まり、年度で見ると円高ユーロ安が進行しました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価 (円)	10年国債利回り (日本)	NYダウ平均株価 (US\$)	10年国債利回り (米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2015年3月末	19206.99	0.400%	17776.12	1.92%	120.17	130.32
2016年3月末	16758.67	-0.050%	17685.09	1.77%	112.68	127.70
変化率	-12.7%	0.45%低下	-0.5%	0.15%低下	-6.2%	-2.0%

2. 保有契約高

区分	件数	金額 (万円)
変額個人年金保険 I 型 (年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	8	1,800

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2015年3月末	129.9625	
2015年4月末	132.2671	+1.77%
2015年5月末	135.8045	+4.50%
2015年6月末	134.1114	+3.19%
2015年7月末	135.2587	+4.08%
2015年8月末	128.2357	-1.33%
2015年9月末	127.4475	-1.94%
2015年10月末	131.2063	+0.96%
2015年11月末	134.3343	+3.36%
2015年12月末	130.9731	+0.78%
2016年1月末	130.2054	+0.19%
2016年2月末	124.3531	-4.32%
2016年3月末	125.5065	-3.43%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
運用利回りはユニットバリューの2015年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

区分	金額	構成比
現預金・コールローン	653	3.0
その他の有価証券	21,139	97.0
その他	9	0.0
合計	21,801	100.0

5. 運用収支状況 (2015年4月1日～2016年3月31日)

項目	金額
利息配当金収入	959
有価証券評価益	5,001
その他の収益	—
有価証券評価損	6,785
その他の費用	3
収支差計	▲828

6. 特別勘定の運用状況 (特別勘定名) 国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド (適格機関投資家向け)」(運用会社：プルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社) に投資することにより行います。

■運用内容

特別勘定への資金の流出入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は97.0%です。

当年度末のユニットバリューは125.5065となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+25.51%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2015年3月末	129.9625	
2015年4月末	132.2671	+1.77%
2015年5月末	135.8045	+4.50%
2015年6月末	134.1114	+3.19%
2015年7月末	135.2587	+4.08%
2015年8月末	128.2357	-1.33%
2015年9月末	127.4475	-1.94%
2015年10月末	131.2063	+0.96%
2015年11月末	134.3343	+3.36%
2015年12月末	130.9731	+0.78%
2016年1月末	130.2054	+0.19%
2016年2月末	124.3531	-4.32%
2016年3月末	125.5065	-3.43%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2015年3月末からの伸び率を記載しております。

(単位：千円)

■保有有価証券の明細

銘柄名	種別	時価額
プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド (適格機関投資家向け)	投資信託	21,139

